

ムッキンレーN

カタログ

【改訂第2版】

長期の防食性能を発揮する、
カラフルで鮮やかなメタリックカラー。

防食、防水、防音の優れた耐久力。

鋼板屋根は腐食が速く、塗り替え周期が短いため、長期間屋根を保護できる耐久性の高い塗料が求められていました。このニーズに応え、長期の防食、防水、防音効果を発揮するのがマッキンレーN。耐候性・密着性に優れたアクリル樹脂を主成分に、防錆性が抜群のアルミパウダー、鱗片状顔料を配合した鋼板屋根用厚膜カラー塗料です。一般の地域ではもちろん、大気汚染の影響を受ける工業地帯、塩害の心配のある海岸地域など、環境条件の悪い地域でも長期にわたって耐久力を発揮します。さらに、建物に合わせて選べる5色を揃え、各種鋼板屋根を確実に保護し、屋根を美しく彩ります。

特長

1 優れた長期防食性能

厚膜型塗料のため、1回塗りで100~200 μ mの膜厚が得られます。腐食、発錆の原因となる水分、塩分、亜硫酸ガスなどの侵入をシャットアウトし、優れた防食性能を長期間発揮します。

2 効果的な防錆性能を発揮

耐候性に優れたアクリル樹脂と、配合されているアルミパウダーの働きによって鋼板をサビから護り、長期にわたって防錆性能を発揮します。

3 美装外観

均一なアルミパウダーと耐候性に優れた着色顔料を配合していますので、上品に美しく鮮やかに仕上がります。また、カラーも5色揃い、建物に合わせてお選びいただけます。

4 クラックなし、防水、断熱を発揮

鱗片状のアルミパウダーと特殊顔料を配合しているため、塗膜はやわらかく弾力性に富んでいます。鋼板への密着力が強く、クラックをおこさず、防水効果を十分に発揮します。さらに、太陽光線を効率的に反射し、室内温度の上昇を防ぐ優れた断熱効果もあります。

5 防音に効果的な厚膜

アクリル樹脂を主成分にアルミパウダーなどの顔料を配合した厚膜型のため、雨音などを吸収し、やわらげる防音効果があります。

6 塗り替えメンテナンスが簡単

塗り替え周期が長いばかりでなく、塗り替え補修の際にケレンなどの処理が簡単にできます。メンテナンス管理がしやすく、手間がかかりません。

用途

- 工場、駅プラットフォーム、プレハブ住宅、体育館、スタンドギャラリなどの各種鋼板屋根
- 配管プラント
- 鉄鋼構築物
- 車両ルーフなど

荷姿

- マッキンレーN……………15kg
- NT塗料用シンナーA……………16 ℓ
- エボラ#1プライマー……………16kg
- エボラ#3プライマー……………16.5kgセット { A液:15kg
B液:1.5kg
- エボラオールプライマー……………16kgセット { A液:14kg
B液:2kg 4kgセット { A液:3.5kg
B液:0.5kg

標準色見本

※印刷のため、実際の施工の仕上りとは相違があります。ご了承ください。



▲グレー



▲スチールグレー



▲オーシャンブルー



▲モスグリーン



▲マロン

塗装仕様

①新設建造物(亜鉛鉄板など)および再塗装の場合

工程	使用塗料	施工方法	施工回数	使用量
素地調整	●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナー拭きや高圧水洗浄などで完全に除去してください。			
上塗り	●マッキンレーN	●エアレススプレー	1回	0.3~0.4 kg/㎡

②表面に若干点錆、部分錆が発生している場合(亜鉛鉄板・カラー鉄板)

工程	使用塗料	施工方法	施工回数	使用量
素地調整	●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレンを行ない除去してください。 ●サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナー拭きや高圧水洗浄などで完全に除去してください。			
下塗り	●エポラ#1プライマー	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	1回	0.13~0.16 kg/㎡
上塗り	●マッキンレーN	●エアレススプレー	1回	0.3~0.4 kg/㎡

③既存塗膜があり錆が発生している金属屋根の場合

工程	使用塗料	施工方法	施工回数	使用量
素地調整	●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレンを行ない除去してください。 ●サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナー拭きや高圧水洗浄などで完全に除去してください。			
下塗り	●エポラオールプライマー	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	1回	0.13~0.16 kg/㎡
上塗り	●マッキンレーN	●エアレススプレー	1回	0.3~0.4 kg/㎡

④ガルバリウム鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム鋼板などの場合(塗装済みのものは除く)

工程	使用塗料	施工方法	施工回数	使用量
素地調整	●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナー拭きや高圧水洗浄などで完全に除去してください。			
下塗り	●エポラ#3プライマー	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	1回	0.14~0.16 kg/㎡
上塗り	●マッキンレーN	●エアレススプレー	1回	0.3~0.4 kg/㎡

■エアレススプレーの標準塗装例

塗装機	高粘度型エアレスポンプ (ポンプレシオ20:1~30:1)
吐出量	5~8kg/分
使用チップ径	0.8mm以上
塗装速度	50~60cm/秒
パターン幅	25~30cm
乾燥膜厚	約160~180μm

■マッキンレーNのローラー塗装について

マッキンレーNの塗装は膜厚を均一に施工するために原則としてエアレススプレーによる塗装をおすすめしますが、傾斜が比較的ゆるく、屋根の表面が波状や折板でない瓦棒屋根などについてはローラー塗装も可能です。

【塗装方法】

- ①既存塗膜、ゴミ、汚れは高圧水洗機などで除去し、錆が発生している場合はエポラ#1プライマーまたはエポラオールプライマーを使用してください。
- ②瓦棒などの突起物、屋根の端部など、ローラー施工のできない部分は硬めのトタン刷毛などで事前に塗装してください。
- ③NT塗料用シンナーAで希釈する場合は、0~15%(目安として夏場:0~5%、冬場:10~15%)としてください。
- ④ローラー塗装は一度に厚塗りせず、2~3回に分けて合計0.4~0.5kg/㎡となるように塗装してください。
- ⑤ローラー塗装はスプレー塗装に比べ、アルミパウダーの配向による塗装ムラが出やすくなります。
- ⑥新設の場合は素材の種類により、プライマーが必要になる場合があります。
- ⑦既存塗膜の種類により、プライマーの変更が必要になる場合があります。

MACKNILEY

■マッキンレーン 施工上の注意事項

●下地処理について

- ① 高圧水洗浄やスプレー塗装では、施工中のミスト飛散防止のため、十分に養生を行なってください。
- ② 高圧水洗機で清掃ができない場合はホースで水を流しながらワイヤーブラシなどを用いて塵、ホコリ、苔類を完全に除去してください。
- ③ 水洗後は1日以上乾燥させてください。雨や露などで濡れている場合も十分に乾燥してから塗装してください。
- ④ 油分が付着している場合は溶剤拭きなどにて除去し、清浄な面にしてください。
- ⑤ サビが発生している場合はワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去し、エポラオールプライマーを施工してください。

●施工上の注意事項

- ① 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素材の状態、形状、施工条件、気象条件などにより多少の幅が生じることがあります。
- ② 屋根表面を水洗いした後や雨や露、霜で濡れているときは十分に乾燥させてから塗装してください。
- ③ 塗装後翌日までに降雨、降雪が予想される場合や気温が5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。艶引けや塗膜物性低下の原因になります。未乾燥状態で降雨や夜露にあたるとう艶引けや白化などの

原因につながります。

- ④ 気温が5℃以上で塗装は可能としておりますが、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- ⑤ 規定の使用量が塗られていない場合、本来の塗膜性能が発現しない場合がありますので規定量を守って塗装してください。早期の耐候性低下や剥離などにつながります。
- ⑥ 新設の場合は、素材の種類によりプライマーを必要とすることがあります。
- ⑦ 既存塗膜の種類により、プライマーの選定が必要になる場合があります。
- ⑧ 皮はりが起きた場合には、皮を全て取り除いてください(NT塗料用シンナーAでは溶解しません)。
- ⑨ 雨や露、霜のため、仕上がり面に黒ずんだ色ムラやフクレなどが生じることがありますので、塗装時、塗装直後の天候にご注意ください。
- ⑩ 夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料を入れたまま放置しますと、つまりの原因となります。
- ⑪ ローラー塗装の場合、スプレー塗装に比べ、アルミパウダーの配向による塗装ムラが出やすくなります。
- ⑫ 塗料中のアルミ配向の状態による色相差が出た場合、塗継ぎが目立つ可能性があります。
- ⑬ 塗装方法が混在する場合、使用量、表面肌が異なることで若干の色の差がでることがあります。

- ⑭ 塗料の希釈は専用シンナーをご使用ください。他のシンナーを使用すると著しい粘度低下や、本来の艶がない場合があります。また、過剰希釈しますと隠ぺい不足、色艶の低下、外観不良、耐候性低下などの要因となります。
- ⑮ 他の塗料との混合は絶対に行なわないでください。
- ⑯ 塗料を小分けして使用する場合は十分に塗料を攪拌して均一の状態にしてから分けてください。色ムラなどの要因となります。
- ⑰ 瓦葺や波形トタン屋根などの塗装で山の部分や折り曲げ部分などは塗料がつきにくいので、膜厚が薄くなりがちです。先に拾い塗りをするなどして全体に均一な膜厚になるよう注意してください。
- ⑱ 材料は直射日光を避け、雨露の当たらない冷暗所に保管してください。
- ⑲ 溶剤系の塗料およびシンナーは引火性がありますので、冷暗所に保存し、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください。また、衛生上、塗装の際に有機溶剤の蒸気を吸わないようにご注意ください。
- ⑳ シーリング面への塗装は極力避けてください。塗膜の汚れや割れの要因となります。
- ㉑ 塗装機具は使用後速やかにラッカーシンナーなどで洗浄してください。

マッキンレーン 取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、降雨や夜露、直射日光の当たらない冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本塗料は溶剤塗料で危険物です。消防法などの適用法令に従って保管してください。また、ご使用にあたっては関連法令を遵守してご使用ください。
- 詳細は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■代理店

■お問い合わせ先

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 | ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323 |
| 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 | ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739 |
| 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 | ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 | ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560 |
| 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256 |
| 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 | ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762 |

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>